

平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月9日

上場会社名 株式会社タイヨー 上場取引所 大福
 コード番号 9949 URL <http://www.taiyonet.com>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)清川 和彦
 問合せ先責任者 (役職名)財務部長 (氏名)村田 浩 TEL 099-268-1211
 四半期報告書提出予定日 平成24年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	30,757	△2.0	306	△44.5	295	△43.9	142	33.5
24年2月期第1四半期	31,391	3.4	553	78.4	527	67.5	106	△19.5

(注) 包括利益 25年2月期第1四半期 17百万円(△79.4%) 24年2月期第1四半期 83百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年2月期第1四半期	円 銭 7.06	円 銭 —
24年2月期第1四半期	円 銭 5.29	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第1四半期	95,009	47,808	50.3	2,372.90
24年2月期	94,861	48,035	50.6	2,383.83

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 47,808百万円 24年2月期 48,035百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	12.00	12.00
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	66,500	1.8	1,200	5.4	1,200	7.0	500	32.7	24.81
通期	133,000	1.6	3,000	4.3	3,000	5.1	900	0.0	44.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年2月期1Q	27,818,895株	24年2月期	27,818,895株
25年2月期1Q	7,671,056株	24年2月期	7,668,514株
25年2月期1Q	20,148,827株	24年2月期1Q	20,154,438株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
【四半期連結損益計算書】	7
【四半期連結包括利益計算書】	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州債務問題により海外経済の先行きが不安視される中、復興関連需要を背景とした公共投資や設備投資が増加するなど、景気は緩やかではありますが、全体として持ち直しに向かう動きが見られました。

小売業界におきましては、自粛ムードであった行楽需要に回復傾向が見られましたが、昨年の東日本大震災後の需要増の反動もあり、厳しい収益環境となりました。

このような状況のもと、当社グループは、「強靱な企業体質による第二の創業」をスローガンとした第二次中期経営計画のもと、引き続き変革、挑戦、創造できる企業文化づくりを推進するとともに、お客様に満足していただき、地域の暮らしにとって「あてになる、役に立つ」店舗作りと、「価値の創造」と「顧客の創造」による企業価値の向上を目指し、全社的な業務改革に取り組んでまいりました。

営業政策面におきましては、お客様にとって価値のある商品を提供するために、「今が旬・祭」や「ステーキ祭」等のセールを積極的に実施し、旬の商品の訴求や品質と鮮度の向上に努めてまいりました。また、火曜日及び水曜日の「百均市」や、月に一度の節約応援セールである「幸せ満腹大作戦」の企画の強化と進化を行ってまいりました。その他にも、九州新幹線全線開通1周年の記念セールや、鹿児島県産と宮崎県産の商品を集めた「鹿児島・宮崎フェア」なども実施いたしました。

恒例セールの企画充実以外にも、アイデア料理レシピが簡単に検索できる「レシピブログ」の活用や、試食や食の食べ合わせによる料理提案を積極的に推進するとともに、売上状況等を集約したデータを活用することによって商品の品揃えや陳列等を適正化し、お買い物しやすい売場作りを全社的に進めてまいりました。また、接客レベルの向上だけでなく、心の豊かさを持つ社内風土作りのための「フレンドリーサービス」も継続して取り組みました。4月からは、「タイヨーネットスーパー」の新しいサービスとして、インターネットによるご注文だけでなく、FAXによるご注文にも対応できるようにいたしました。

管理政策面におきましては、第二次中期経営計画における部門戦略やプロジェクトの目標達成を支援するために、新しいマネジメントシステムを導入するとともに、基幹システムの更新による新たな人事給与システムの稼働、社内会議体制の見直し等により、更なる業務効率化を図りました。また、社外講師を招いた社内研修も引き続き実施し、次世代を担う幹部社員の育成に取り組んでまいりました。

その他にも、東日本大震災復興支援としての義援金募金活動など、これまで実施してきた社会貢献活動を引き続き推進するとともに、5月からは、新たな環境保全への取り組みとして、サトウキビを主な原料としたバイオマスポリエチレン製のレジ袋の使用を開始し、資源の節約とCO₂排出量の削減に努めました。節電への取り組みとして、店内照明の間引き点灯や電力監視システムの活用を継続し、新たに一部の改装店舗の売場全面にLED照明を導入いたしました。また、当社株式を中長期的に保有していただける株主様の増加を図るために、4月に株主優待制度を拡充し、従来のお買物券だけでなく、鹿児島県産のお茶も選択できるようにいたしました。5月には、これまで実施してきた環境保全や地域貢献に対する取り組みをより多くの方々に知っていただくために、「CSRレポート」を初めて発行し、当社ホームページでも閲覧できるようにいたしました。

店舗につきましては、清武店(3月)、東市来店(4月)を改修したほか、5月には、グランド伊集院の隣接地に新たにテナントビルを加え、2つの施設をあわせてソレイユタウン伊集院といたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、営業収益（売上高及び営業収入）が307億57百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益が3億6百万円（前年同期比44.5%減）、経常利益が2億95百万円（前年同期比43.9%減）、四半期純利益が1億42百万円（前年同期比33.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は950億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億47百万円増加いたしました。これは、主にその他流動資産が3億66百万円減少したものの、商品及び製品が6億4百万円増加したことによるものであります。

負債は472億円となり、前連結会計年度末に比べ3億73百万円増加いたしました。これは、主に長期借入金が6億87百万円減少したものの、買掛金が10億39百万円増加したことによるものであります。

純資産は478億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億26百万円減少いたしました。これは、主にその他有価証券評価差額金が1億25百万円、利益剰余金が99百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績の見通しにつきましては、平成24年4月9日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

(有形固定資産の減価償却の方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より、法人税法の改正(経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律(平成23年法律第114号)及び法人税法施行令の一部を改正する政令(平成23年政令第379号))に伴い、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う、損益に与える影響は軽微であります。

(2) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,998	7,126
売掛金	56	65
商品及び製品	6,347	6,952
仕掛品	1	1
原材料及び貯蔵品	120	139
その他	2,118	1,752
流動資産合計	15,643	16,038
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,017	17,829
土地	53,070	53,160
その他(純額)	3,863	3,800
有形固定資産合計	74,951	74,789
無形固定資産		
その他	228	297
無形固定資産合計	228	297
投資その他の資産		
投資有価証券	1,174	983
その他	3,087	3,122
貸倒引当金	△223	△223
投資その他の資産合計	4,037	3,882
固定資産合計	79,218	78,970
資産合計	94,861	95,009
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,586	7,625
短期借入金	10,790	10,750
1年内返済予定の長期借入金	3,513	3,224
未払法人税等	642	331
賞与引当金	864	1,364
その他	4,030	4,240
流動負債合計	26,427	27,537
固定負債		
社債	30	30
長期借入金	14,143	13,455
退職給付引当金	1,367	1,368
役員退職慰労引当金	241	240
資産除去債務	291	292
その他	4,325	4,275
固定負債合計	20,399	19,663
負債合計	46,826	47,200

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,505	8,505
資本剰余金	7,964	7,964
利益剰余金	38,665	38,566
自己株式	△7,179	△7,180
株主資本合計	47,956	47,855
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78	△46
その他の包括利益累計額合計	78	△46
純資産合計	48,035	47,808
負債純資産合計	94,861	95,009

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
売上高	31,009	30,368
売上原価	24,381	23,825
売上総利益	6,628	6,542
営業収入	382	389
営業総利益	7,010	6,932
販売費及び一般管理費	6,456	6,625
営業利益	553	306
営業外収益		
受取利息	5	5
その他	50	63
営業外収益合計	56	68
営業外費用		
支払利息	61	55
その他	20	24
営業外費用合計	82	79
経常利益	527	295
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	3	5
投資有価証券評価損	96	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	214	—
特別損失合計	316	5
税金等調整前四半期純利益	211	289
法人税、住民税及び事業税	340	326
法人税等調整額	△235	△178
法人税等合計	104	147
少数株主損益調整前四半期純利益	106	142
四半期純利益	106	142

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	106	142
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△22	△125
その他の包括利益合計	△22	△125
四半期包括利益	83	17
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83	17
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。